

令和4年度 学 校 評 価 集 約 結 果							(全体教職員) R4.12実施					令和4年12月実施				
数字は% △:昨年度よりアップ ▼:昨年度よりダウン																
No.	評 価 内 容	A+B(昨年度)	A	B	C	D	○成果 △課題等					A	B	C	D	総数
1	子どもの健康安全に充分留意し、安全安心に生活できるように配慮し、ケガ等の際は直ちに保護者へ連絡している。	97% (94.2)△	71.6%	25.4%	3.0%	0.0%	○小さな怪我であっても、保健室を利用したりした旨や経緯などについて連絡している。 ○緊急性があるときは電話で知らせている。					48	17	2	0	67
2	通学時の安全のため、駐車場での安全確保や単独通学生への安全指導が行われている。	100% (100)	74.6%	25.4%	0.0%	0.0%	○登校時の安全指導、ありがとうございます。 △小学部入口の後付けの鍵が、児童でも簡単に開錠するので、鍵の改善をお願いしたい。 ○職員が駐車場に立って整備するなどし、子どもの飛び出し等の危険事項が防がれている。 ○交通安全指導 ○定期的に通学指導が実施され、その都度生徒への指導が行われた。					50	17	0	0	67
3	家庭や関係機関と連携し、心と体の健やかな育成を目指した指導が工夫されている。	100% (100)	56.7%	43.3%	0.0%	0.0%	△放課後等デイサービスとの送迎時のやりとりを通じて、最近の様子や体調について手短に話せるとよい。 ○毎朝の情報交換 ○外部機関との連携を積極的に行うことができている。					38	29	0	0	67
4	いじめや事故の防止を図るとともに、問題発見の際はチームで迅速に対応している。	100% (100)	68.7%	31.3%	0.0%	0.0%	○気になったことをまず学年主任や学部主任に相談するという体制が徹底されている。					46	21	0	0	67
5	新型コロナウイルス感染症防止対策や緊急時対応を整え、安全に対する意識を高め安心して過ごせる環境に努めている。	95. 4% (100)▼	61.2%	34.3%	4.5%	0.0%	○感染が確認されてからの対応が早く、安心につながっている。 ○毎日の健康観察や教室環境づくりについて、留意点や変更点が養護教諭や学部主任よりこまめに周知されている。 ○チェックシートの実施 △安全に対する意識をもっと高めていく必要がある。					41	23	3	0	67
6	チームで検討された個別の教育支援計画や個別の指導計画に基づき、個に応じた指導・支援が行われている。	100% (100)	53.7%	46.3%	0.0%	0.0%	○主に学年で情報共有をしながら進められている。 ○授業実践やミニ研修会などで、学年や学部などで授業や児童について話し合うことができた。					36	31	0	0	67
7	進路に関する必要な情報提供がなされ、家庭と連携し適切な進路指導が行われている。	90. 9% (95.7)▼	47.8%	43.3%	9.0%	0.0%	○進路希望調査を学部で回覧し、学部職員全体での見守りの意識付けがされている。 ○進路先開拓と情報提供がよくなされている。 △保護者の方へ、発達年齢に応じた情報や取り組みについてさらにお知らせしていく。 △小学部段階での進路指導について、保護者と共有したほうがよい事項や情報について明記されたものがあるとよい。 △自分自身、進路のことの情報量が少なくベアの先生へ任せてしまっている部分がある。					32	29	6	0	67
8	障がいの特性や指導法等について理解を深め、指導・支援の充実及び専門性の向上を図っている。	97. 0% (97. 1)▼	58.2%	38.8%	3.0%	0.0%	△重複障がいについて障がい種別によっては専門性を高める必要があると思う。 △障がい特性や指導法についての研修機会が少ない。また、教員数が常にぎりぎりの状態のため、外部研修などを希望しにくい、せめて、よい研修に参加した方からの研修報告など、校内で共有していただけたらと、世の中の新たな流れや、他校の実践などを知る機会になってよいと思う。 ○長期休み中の研修等、学ぶ機会がある。					39	26	2	0	67
9	授業を振り返ったり授業研究会で協議した内容を日頃の授業改善に生かしたりしている。	100% (98. 6)△	59.7%	40.3%	0.0%	0.0%	○授業研究会の記録で重要な部分を回覧することがあった。 ○児童の情報を学年で共有している。 ○体育科での実践が大変勉強になった。ほかにも応用できると感じた。 ○事業研を受けて、単元計画を見直しされている。					40	27	0	0	67
10	児童生徒の実態把握により指導目標と評価の一体化した授業づくりを進め、身に付ける力を明確にした指導が図られている。(主に体育・保健体育科の授業づくりにおいて)	98.5% (98. 5)	62.7%	35.8%	1.5%	0.0%						42	24	1	0	67
11	学校のホームページや参観等をとおして開かれた学校づくりを目指し、保護者や地域の方々への情報発信に努めている。	93. 9% (91. 3)△	23.9%	70.1%	6.0%	0.0%	△感染症防止の観点で難しいことが多い。 △コロナ対策を考えると難しい。 *参観等を計画していても、コロナの関係でなかなか実施できない状況にある。 *ホームページが見やすくなるとよい。 △学校からは発信していても理解していない保護者が数名いる。より学校に関心をもってもらうためにどうするといいか考えていきたい。 △学校HPIに生徒の活動の様子をできる限り掲載すべき					16	47	4	0	67
12	地域及び学校との連携を図り、行事などでの交流をすすめている。	89. 4% (73. 9)△	22.4%	67.2%	10.4%	0.0%	△コロナ感染症の影響で直接交流が難しいので、間接交流などの取り組みを行う。 ○コロナ関連で、児童や職員の休みが続いていた中だったので、小学部授業参観が中止になったのは、残念だったがよかった。正しい情報発信になる状況での授業参観にした。 ○教育相談の実施 ○コロナ対策をしながら、地域交流ができた。					15	45	7	0	67
13	地域における特別支援教育のセンター的機能を果たしている。	98. 5% (100)▼	56.7%	41.8%	1.5%	0.0%	○コロナウイルス関係で実施できないことが多いが、交流の計画は多く立てられていると思う。					38	28	1	0	67
14	職員間で連帯感があり、支え合い、働きがいのある職場づくりができている。	100% (97. 1)△	71.6%	28.4%	0.0%	0.0%	○コロナ禍でお休みの先生が多い際も、学年等で協力して指導に当たっている。△挨拶なしの先生がいるのが残念。 △十分に話し合う時間が取れない。児童に対する指導の在り方について、共通理解が得られないこともある。 ○職員室をはじめ、お互いにコミュニケーションをとる様子が多く見受けられる。 *業務の偏りがまだみられる					48	19	0	0	67
15	行事精選やグーグルワークスペース(以前はグループウェア)の活用、会議の運営の工夫など、ゆとりづくりのための取り組みが行われている。	93. 9% (94. 2)▼	41.8%	52.2%	6.0%	0.0%	○不具合にも迅速に対応し、職員への周知や使用方法の確認も 丁寧に行われている。 △グーグルワークスペースの活用法を学びたい。					28	35	4	0	67
16	定時退校日に向けて計画的に仕事を進め、早く退勤できている。	89. 4% (87. 0)△	32.8%	56.7%	10.4%	0.0%	△業務が重なると、どうしても定時退校ができにくい日が出る。お互いに声をかけあう、状況を周囲に知らせ、業務を一人で抱え込まないようにする。 △仕事の優先度や、計画的に仕事を進めていく必要がある。					22	38	7	0	67